

にいがた命のつながりプラン 各施策と指標・目標(案)について

I 在来の動植物の生息・生育環境の保全・再生

【基本方針】

- 本市で見ることができるさまざまな在来の動植物が、将来にわたり生息・生育しつづけることができるよう環境の保全を図るとともに、本市の生物多様性に大きな影響を与えている外来生物について、対策を実施します。
- 多様な動植物が生息・生育する里潟や田園、里山などにおいて、動植物の生息・生育環境の保全・再生を図るとともに、水と緑のネットワークづくりを進めます。
- 生物多様性を推進するには、動植物やその生息・生育空間について把握する必要があるため、調査・研究やモニタリングを推進します。

第3次 新潟市環境基本計画記載の成果指標 (P44)

指標項目	現状(H25 年度)	目標(H34 年度)
特定外来生物 ^{※1} の種類	10 種	現状より減少
生物多様性の象徴としてのハクチョウとの共存	日本一の越冬数	現状を維持
環境保全型農業を実施する農地の割合 ^{※2}	34.4%	50%

※1 日本在来の生物の生活をおびやかす外来生物を国が定めたもの
※2 主食用水稲稲作面積に占める化学合成農薬・化学合成肥料を5割以上削減した栽培面積の割合

施策項目	施策に基づく主な取り組み（主な事業名）	指標	現状(H26 年度)	目標(H34 年度)
ア 新潟市の在来動植物を守ります	・ 佐潟周辺自然環境保全連絡協議会の運営 ・ 市民探鳥会 ・ にいつ丘陵里山保全活用事業 ・ 佐潟ボランティア解説員制度 ・ 佐潟動植物調査，鳥屋野潟植生調査 ・ 鳥獣による生活環境被害や農林水産業被害への対応 ・ 外来生物に対する啓発活動 ・ 市民団体等との連携 (新潟県水鳥湖沼ネットワーク，生物多様性ネットワーク新潟，他)	特定外来生物の種類	10 種(H25 年度)	現状より減少
		市民探鳥会参加人数	109 人	200 人
		佐潟ボランティア解説員活動人数	205 人	250 人
イ 動植物の生息・生育環境を守ります	・ 佐潟クリーンアップ活動「潟普請」 ・ 福島潟クリーン作戦 ・ 鳥屋野潟一斉清掃 ・ 佐潟，鳥屋野潟等の水質調査 ・ ラムサール条約への登録支援 ・ 海岸林保全活用支援事業 ・ 海岸一斉清掃 ・ 松くい虫防除対策事業 ・ 角田山生きもの観察会 ・ にいがた生きものファンクラブによる情報発信	生物多様性の象徴としてのハクチョウとの共存	日本一の越冬数 (H25 年度)	現状を維持
		環境保全型農業を実施する農地の割合	34.40% (H25 年度)	50%
		福島潟クリーン作戦参加者数	700 人	750 人
		「にいがた生きものサポーター」現地体験会参加者数	延べ 112 人	延べ 300 人
ウ 動植物の生息・生育情報を収集・蓄積します	・ 里潟学術調査研究事業 ・ 鳥屋野潟指標生物モニタリング調査	里潟学術研究委託事業件数	2件	3件

Ⅱ 自然環境の持続可能な利用の推進

【基本方針】

○自然環境や資源の過度な利用を抑制するとともに、人の手が加わらないことによる里潟や田園、里山などの荒廃を改善し、将来にわたり自然の恵みを享受できる暮らしと社会づくりを推進します。

○生物多様性の保全と自然環境の持続的な利用のために、さまざまな主体が連携して取り組むことができる仕組みづくりを進めます。

第3次 新潟市環境基本計画記載の成果指標 (P50)

指標項目	現状(H25 年度)	目標(H34 年度)
水がよりきれいなランク※1 になった河川・湖沼の水域数	—	3地点
植栽やビオトープづくり等, 美しい農村景観の形成を行う農地の割合※2	78%	90%

※1 ランクとは、河川・湖沼の類型(AA, A, B, C, D, E)に相当するようなきれいさとし、項目としてBOD75%値/COD75%値で評価

※2 農地, 水路, 農道等の質的向上を図る共同活動を支援する「資源向上支払交付金(多面的機能支払交付金事業)」の対象農地の割合

施策項目	施策に基づく主な取り組み（主な事業名）	指標	現状(H26 年度)	目標(H34 年度)
ア 生物多様性の保全に配慮した暮らしづくりを進めます	<ul style="list-style-type: none">・グリーン購入の推進・家庭系ごみの減量の推進・集団資源回収運動事業・リサイクルプラザ事業・地産地消推進事業・バイオディーゼル燃料（BDF）の活用・汚泥の再資源化・バイオマス利活用推進事業・【再掲】市民探鳥会・【再掲】佐潟ボランティア解説員制度・園芸相談・都市型グリーン・ツーリズム推進事業・市民団体等との連携（にいがた野鳥の会，他）	地産地消の店認定数	小売店 69, 飲食店 153	小売店 80, 飲食店 180
		廃食用油等の回収・利活用量	82,000 ℓ	110,000 ℓ (H30 年度)
		下水汚泥のリサイクル率	100%	100%
		【再掲】市民探鳥会参加人数	109 人	200 人
		【再掲】佐潟ボランティア解説員活動人数	205 人	250 人
		園芸相談の相談件数	7,198 件	10,000 件
		「食と農の学校」参加者数	123 人	150 人
イ 事業者などに生物多様性の保全に配慮した事業活動を求めます	<ul style="list-style-type: none">・環境影響評価（環境アセスメント）の実施・公共工事における環境配慮・大気環境の監視，規制指導・騒音，振動の防止			

Ⅲ 人材育成・協働の推進

【基本方針】

○多くの市民が本市の自然環境について知り、触れて、体験することで、自ら考え活動できる機会を数多く創出し、その経験を活かしながら、普段の生活や学校教育、企業活動の中で、自然環境や生物多様性の保全・再生に配慮した行動ができる人材の育成を図ります。

○さまざまな主体が、枠組みを越えて、協働で自然環境の保全と再生に向けた活動ができるよう、仕組みづくりと活動支援を進めます。

第3次 新潟市環境基本計画記載の成果指標 (P50)

指標項目	現状(H25 年度)	目標(H34 年度)
食育・花育センターが実施する花育体験プログラム等の実施団体数	30 団体	70 団体
保育所、幼稚園、小学校の地域との連携による花育活動実施率	48%	60%

施策項目	施策に基づく主な取り組み（主な事業名）	指標	現状(H26 年度)	目標(H34 年度)
ア 生物多様性保全の担い手の育成を図ります	・ 佐潟水鳥・湿地センターの活動 ・ 水の駅「ビュー福島潟」の活動 ・ 【再掲】にいがた生きものファンクラブによる情報発信 ・ にいがた生きものサポーター事業 ・ 教育ファームの推進 ・ 環境学習の推進 ・ 環境教育協力実践校の指定 ・ 市政さわやかトーク宅配便(出前講座)の実施 ・ 動く市政教室の実施 ・ 緑化活動推進事業 ・ にいがた市民環境会議の活動支援 ・ 市民団体等との連携 （福島潟みらい連合、他）	佐潟・水鳥湿地センター年館来館者数	69,598 人	75,000 人
		水の駅「ビュー福島潟」来館者数	100,563 人	110,000 人
		「にいがた生きものファンクラブ」登録数	436 件	2,000 件
		【再掲】「にいがた生きものサポーター」現地体験会参加者数	延べ 112 人	延べ 300 人
		教育ファーム(農業体験学習)取り組み小学校割合	86.7%(H25 年度)	各年 100%
		公民館での環境教育事業の参加者数	850 人	900 人
		緑化活動推進事業の実施団体数	390 団体	400 団体
		にいがた市民環境会議会員数	33 団体	40 団体
		環境フェア参加人数	17,208 人	30,000 人
		【再掲】にいがた市民環境会議会員数	33 団体	40 団体
イ 市民参加・協働を進めます	・ 環境フェアの開催 ・ 【再掲】にいがた市民環境会議の活動支援 ・ 福島潟自然文化活動補助事業			

Ⅳ 地球温暖化防止などの推進

【基本方針】

○人間の生活のみならず、動植物の生息・生育環境に大きな影響をおよぼす地球温暖化の防止など、地球規模の環境変動の抑制に取り組みます。

第3次 新潟市環境基本計画記載の成果指標 (P32)

指標項目	現状(H23 年度)	目標(H30 年度)
市域の温室効果ガス排出量	694 万-tCO ₂	624 万-tCO ₂ ※1

※1 基準年度(H17年度)比 15%削減